

司法書士試験の概要

第 1 章 司法書士試験の受験科目

1. 午前の部の受験科目と午後の部の受験科目との違い
2. 択一式試験と記述式試験との違い
3. 試験の日程等

第 2 章 司法書士試験の出願者数及び合格者数

過去 3 年間の出願者数及び合格者数、合格率

	出願者	合格者数	合格率
平成 23 年度	31,228	879	2.81%
平成 24 年度	29,379	838	2.85%
平成 25 年度	27,400	794	2.89%

※ 平成25年度の合格者数は、筆記試験の合格者数です。最終合格者の数はこれと多少異なる場合があります。

第 3 章 配点と合否の判定方法

1. 配点

択一式試験は 1 問 3 点で210点満点

記述式試験は 2 問で70点満点

合計280点満点で採点される

2. 合格基準点

過去 3 年間の合格基準点

	午前の部	午後の部の択一式	記述式	全体の基準点
平成 23 年度	26 問(78 点)	24 問(72 点)	39.5 点	207.5 点
平成 24 年度	28 問(84 点)	26 問(78 点)	38.0 点	215.0 点
平成 25 年度	28 問(84 点)	27 問(81 点)	39.0 点	221.5 点

第4章 受験科目について

1. 午前の部 憲法(3問)・民法(20問)・刑法(3問)・商法(9問)
2. 午後の部の択一式試験
民事訴訟法(5問)・民事執行法(1問)・民事保全法(1問)・司法書士法(1問)
供託法(3問)・不動産登記法(16問)・商業登記法(8問)
3. 午後の部の記述式試験
不動産登記法, 商業登記法各1問ずつ

第5章 合格までに要する期間はどれくらいか

1. 1年で十分だった人はこれまで多数いる
2. 何年かけても合格しない人も多数いる
3. 仕事を継続しながらの受験に障害はあるか

第6章 司法書士試験を目指すための意思決定

1. 司法書士試験の難易度を再検討する
2. 試験の難易度は各自が決めることである
3. 受験準備に入るまでの準備の重要性